

ちよつといひ話

～ 発願心 ～

平成も19年目を迎え大きな節目に成ると思います。そこで我々も悪き慣習を見直し、事を改めるに勇気を持って恥ずかしがる事なく、環境の改善に敢然と立ち向かいましょう。経に法蔵菩薩は衆生を導く為に48もの項目を発願心として発表されました。我々も自己の啓発に際し少々の発願をしましょう。特に一月は正月と呼ぶ様に切り替えをする好機なわけです。仏教では正しく生きる為に守るべき所作に八つあり、それを八正道と言います。正見、正思、正語、等（第34号参照）があります。

発願とは浄土教祖法然上人は極楽往生する為の心構え（第30号参照）をもって発願心とされました。此の事と併せ、今回の発願は今年目標を定め目標に向かって志しを立て、目標の達成にその心を維持させる事にあります。その道程はもちろん上記の八正道を^{じゆんしゆ}遵守^なしなくてははいけません。「^な為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは 人の成さぬなりけり」とよく言われます。空海大師曰く、物事は基礎をしっかりと作ってこそ良い結果が^{しょう}生じると言われました（第72号参照）。

そうすると武田信玄が言うように「・・・成る^{わざ}業を成らぬと捨つる人の^{はかな}儂さ」にならなくてすみます。今年^{いとし}は亥年^{いのしし}です。猪の様に力強く突き進む事は必要ですが猪突猛進^{ちよつともうしん}に成らない様に注意しましょう。なぜならば失敗すると勢いがよいだけに被害甚大に成り易いのです。後悔しない為にも「チョト待って、一寸待って」と考える時間を持って下さい。皆様が今年一年を無事に、所願意の如く成就せしめ給わんことを祈念致します。

善入院油掛地藏尊